

中部日本ニュース

シネスコ版

道新 16114 大島 羽根目あぐ 王位戦 一足先 12000 (本編トップ追加)
 中口新 16114 同港 地球 空の玄関 大島空港 11000 (本編トップ追加)
 高新 16236 本編同い
 新愛媛 1664

No. 4 0 1 36.9.22

1、ウツクSSD

九月十五日のとしよりの日を迎えて、今年も各地で敬老の集いが行われました。折りも折浅草では、不遇の親子をめぐって下町らしい人情が見られます。元軍人だった頑固者の老人もこうした人々の温い善意で再出発することになったのです。元軍人といえば岐阜県大垣市に住む下用吉さんは八十一歳の老人。かつて日本海々戦に旗艦三笠の乗組員だったというのが自慢のタネ。庭先きの掲揚塔に今日も国旗をかかげてすぎ去る明治を惜んでいます。

一、乱れ狂った「室戸二世」

—北海道、東京、奈良、大阪、広島、和歌山

暴風雨圏の半径五百キロという第二室戸台風は九月十六日に、本土へ襲いかかり死者二百名に及ぶ大きなツメ跡をのこしたのです。

日本縦断という最悪のコースを通るため気象庁では刻々と警報を発令。しかし、台風の上陸地点となった大阪では最大風速五〇・六メートルの猛風雨が全市を荒れ狂い、プラス四メートルの高潮は地盤沈下で低くなった防潮堤をこえて都心一帯から臨港地帯の低地にかけてはらん。全市の25%が水びたしとなり四日間にわたる孤立状態が続きました。

奈良の東大寺ではお水取りで名高い二月堂の大杉が真二つになり、重要文化財の若狭井屋がつぶれるなどさんたんたる風景です。

アメリカ村で知られた和歌山県美浜町の三尾部落は高波に襲われ全滅に近い有様です。日本海へ走り抜けた台風は北海道でも荒れ狂いました。

風台風として猛威をふるった第二室戸台風のすさまじい模様を全国に拾いました。

66300

38700

23400